令和3年度　ウンカ情報　第1号

令和３年５月３１日
島根県病害虫防除所

…5月下旬の巡回調査で**セジロウンカ**を確認しました…

セジロウンカ

５月下旬の巡回調査（50 株払落し調査）において、セジロウンカ成虫を確認しました。今年度県内のほ場で初めての発生となります。発生ほ場率 2.17％（平年 1.07％）、寄生虫数 0.02 頭（平年 0.02 頭）/50 株と、寄生虫数は平年に比べやや多くなりました。

県内初飛来は予察灯（出雲市）において5月１８日に確認され、飛来時期は平年に比べ早く、誘殺数も平年に比べ多くなりました。梅雨明けまで断続的な飛来の可能性があります。今後の発生状況に注意してください。

～セジロウンカ発生予測パターン～

気温（5月30日までは今年の気温、それ以降は過去30年間の平年値）を用いた有効積算温度計算シミュレーションから発生予測パターンを作成しました（JPP-NET 病害虫発生予測データベース）。発生消長把握の参考としてください。

注）5/31以降の気温が平年と大きく異なった場合は、本予測パターンと異なることがあります。

トビイロウンカ　　**コブノメイガ**

トビイロウンカとコブノメイガ

予察灯及び巡回調査では発生を確認していません。しかし、例年セジロウンカと同時期に飛来することから、今後の発生状況に注意してください。